

# 日本語教育センター通信 第3号

## サマープログラムを実施!

8月4日～8月21日の約3週間、関学の提携国である韓国の慶熙大学の学生を対象とした短期集中日本語・日本文化学習コースを実施しました。このプログラムは今夏初めて実施したものです。初級8名中上級11名の計19名の学生が本プログラムで学びました。日本人学生20名(コース前半パートナーとして採用し、短期プログラムではありません)ができるだけ日本語に触れる機会を多く持てるような内容となっています。

### 短期集中 日本語・日本文化学習コース ～韓国慶熙大学～



「USJへのフィールドトリップは日本語パートナーも一緒に楽しみました」

コース前半は「買い物」「食事」等の場面で使う日本語をクラス内で学び、授業後に日本語パートナーと一緒に買い物や食事に行き、クラスで学んだ日本語を実生活で用いる練習を行いました。後半はPOPカルチャー(ドラマ・マンガ・J・POP)をテーマとして、POPカルチャーに触れながら同時に日本語も学びました。韓国語での講義でPOPカルチャーへの興味・知識を高め、日本語の授業では日本語パートナーとのディスカッションや、街へ出て日本人へのインタビュ、最終日にはPOPカルチャーについての発表会も行いました。日本文化体験として、USJや京都で国際マンガミュージアムを訪れたり、和菓子作りを体験したりしました。

来年の夏にも同様のコースを企画していますので、ぜひその際は日本語パートナーに応募してみてください。日本語パートナー募集については、CIEMメールマガジン、日本語教育センターHP、掲示板で案内します。

10月24日(月) 4限、25日(火) 3限・4限に、人間福祉学部の英語クラスでの交流授業に、交換学生が参加しました。この交流授業は数年前から、人間福祉学部英語クラスからの呼び掛けで行われているものです。今回はハロウィンに合わせて、ハロウィンの飾り付けがしてある教室で、ゲーム(すごろく、ビンゴ)を楽しんだり、お盆とハロウィンの相違点について話し合ったりしました。参加した交換学生たちは、英語や日本語でお互いのことや国について話し合うことで、異文化への理解を深めたり、新たな友情を築いたりしていました。授業後には、授業に参加したことを証明する写真入りの証明書をいただき、とてもよい思い出になりました。

## 人間福祉学部英語クラスとの交流授業



〈授業参加者とギルバート先生(写真中央列左)〉



### 交流授業に参加した交換学生の感想

10月24日、ハロウィンの授業に参加した。とても楽しかった。日本語の先生は、「もし時間があつたら、ぜひ行ってください」と言った。「それはどんな授業?」と思った。そして、行こうと思った。授業にいったばい日本人がいた。実はそれは日本人の英語の授業だった。教室が飾ってあったり、音楽がつけてあったり、ハロウィンの気分になれたから、よかったと思った。日本人と一緒にゲームをしたり、しゃべったり、写真をとったり。本当に楽しかった。それに、日本の文化もちよつとわべようと思っている。

リン・リイン / クロロイ (シンガポール 南洋理工大学)

## 入門セミナーを実施しました

11月14日(月)～11月18日(金)の5日間、「第17回 日本語を教えたい人のための入門セミナー 基礎編」を実施し、29名の学部生・大学院生が受講しました。「日本語教師という職業について知ることができてよかった」「自分の将来について真剣に考えるきっかけになった」「母語として使っている日本語を客観的に見ることで、外国語としての日本語という新しいとらえ方をすることができた」という声が聞かれました。12年度は春学期に基礎編、秋学期には実践編を開講予定です。実践編では、グループで日本語の教科書を分析し、教案を作成、最終日には模擬授業を実施します。実践編の受講は、基礎編を受講した学生が対象となりますので、春学期の基礎編を受講してください。

### 日本語クイズ ～漢字編～

【問1】

「噓」の読み方は次のうちどれでしょう?

【答】 1) くしゃみ 2) いびき 3) よだれ

【問2】

「醫」の読み方は次のうちどれでしょう?

【答】 1) にきび 2) ほろろ 3) えくぼ



発行人: 関西学院大学 / 日本語教育センター  
発行日: 2011年12月19日